



2025 年 5 月 15 日

各 位

社 名 日 本 ア ジ ア 投 資 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長執行役員 CEO 兼 CIO
 丸 山 俊
 (コード番号 8518 東証スタンダード市場)
 問 い 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 C F O
 岸 本 謙 司
 T E L 0 3 (3 2 2 1) 8 5 1 8

連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績の前期実績と当期実績値との対比において下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資は、その事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。そのため、前期実績値との比較になっております。

なお、当社は、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した従来の会計基準に基づく「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。「従来連結基準による見込値」の修正につきましては、2025年4月30日付の当社公表資料「「従来連結基準による見込値」の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

記

1. 2025 年3月期通期連結業績値と前期実績値との差異(2024 年4月1日～2025 年3月 31 日)

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (注) (円)
前期実績(A)	2,444	△1,150	△1,302	△1,700	△96.03
当期実績(B)	3,092	105	141	400	18.94
増減額(B-A)	648	1,256	1,443	2,100	
増減率(%)	26.5	—	—	—	

2. 差異の理由

前連結会計年度に比べてプロジェクトの売却が好調だったことから26.5%増収となりました。加えて、中華圏での営業投資有価証券評価損や投資損失引当金繰入額が減少したことや販管費の削減により、黒字回復しました。詳細につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

3. 業績予想及び「従来連結基準による見込値」について

(1) 業績予想について

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資は、その事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した従来の会計基準に基づく「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

(2) 「従来連結基準による見込値」について

「従来連結基準による見込値」に適用される従来の会計基準は、現在の会計基準と違いがあります。当社グループでは、2007年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 2006年9月8日 実務対応報告第20号)を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。他方、従来からの会計基準では、投資事業組合を連結の範囲から除いた上で、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いています。

当社は、投資家及び株主の皆さまに当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来の会計基準に従った連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

以 上